

■ボルクレイ・ベントナイトとは

ボルクレイ防水材の主成分である“ベントナイト”とは天然の粘土鉱物です。アメリカなどの大地で一億年もの昔に噴火した火山灰が堆積し、長い年月をかけ生成されたものです。

ベントナイトは食品添加物に指定されている無機原料であり、建設資材だけでなく、工業用、鑄造用、化粧品用、医薬部外品をはじめ、身近な所では猫砂(猫用トイレ)など、多くの分野で使用されております。



ベントナイト鉱山での採取風景



ボルテックス製造工場は、ISO9001を取得しています。

株式会社 ボルクレイ・ジャパン

(代理店)

環境開発部

〒105-0004 東京都港区新橋3-1-9 (301新橋ビル7階)

TEL:03-3595-7511(代表) FAX:03-3595-7515

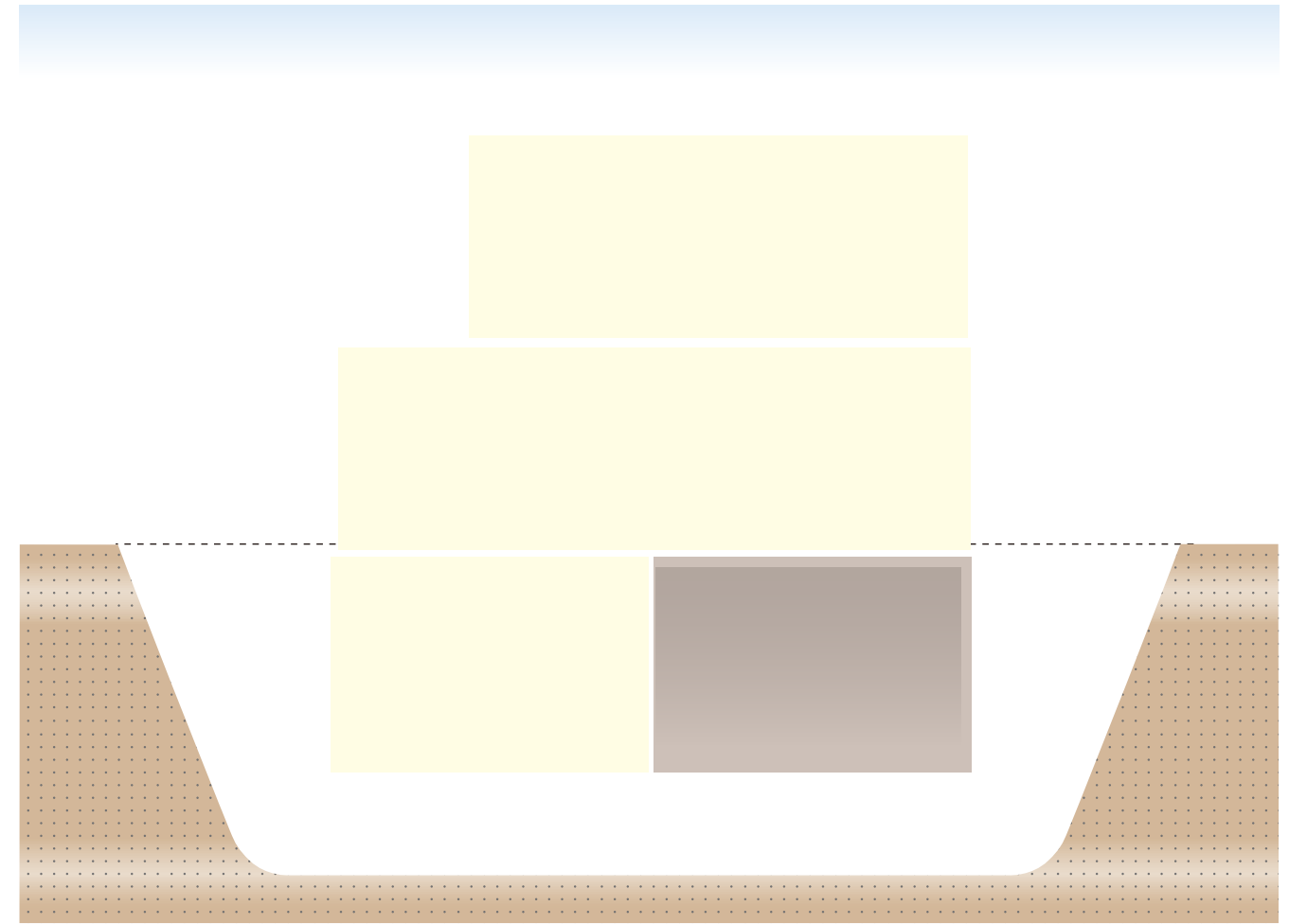
<http://www.volclay.jp>



Volclay®

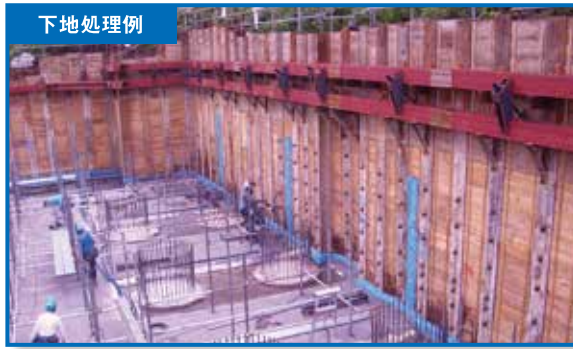
ボルクレイ地下防水

ナトリウム型ベントナイト地下防水工法

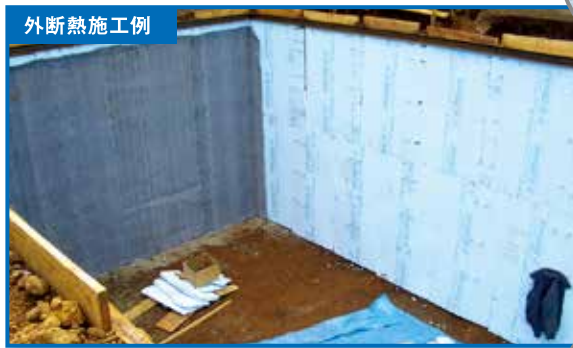


施工例

親抗横矢板



山留壁から湧水がある場合は、透水マットなどで予め、背面導水処理をする。



断熱材を併用する場合は、山留壁に断熱材を先行して取り付けてからボルテックスを施工する。

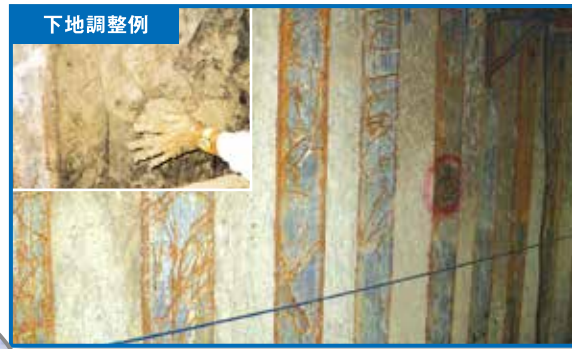


タッカーなどを使用してボルテックスを施工する。



ボルテックスの端部は、GLより100mm以下に合わせる。

SMW



凹凸差の著しい箇所は、ベントナイトなどで不陸調整する。



腹起しがある場合は切梁下で止めておき、切梁解体後に続けて施工する。



スリーブ管は予め設置しておき、貫通処理を施す。

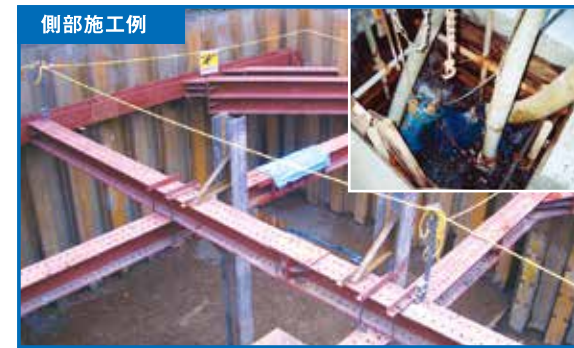


セパレーターの貫通部や重ね部には、ベントシールを盛り付ける。

シートパイル



重ねを100mm以上取りながら、粒状ベントナイトを散布する。



湧水は釜場で処理しておく。



シートパイルにベニヤ板を設置して、ボルテックスを施工する。



通常の山留壁と同様に施工する。

後付工法

※後付工法では、ボルテックスDS製品の使用を推奨しております



割付けに従いながら施工する。



ピーコンや打継ぎ、ジャンカなどはシールで処理する。



釘打ち機を使用してボルテックスを固定する。



ボルテックスDSの重ね部はテープ接合する。



構台杭処理例



圧接養生例



アングル施工例



継手処理例



貫通部処理例



端末処理例